第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」策定に係る
福祉事業所アンケート結果

1.調査の目的

第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定にあたり、登別市内で福祉・介護・障がい・子ども等の分野に関わる事業所が、地域や利用者の暮らしをどのように捉えているのかを把握するため、アンケート調査を実施した。

本調査を通じて、制度やサービスによる支援だけでは捉えきれない地域生活上の課題や、事業所が地域の一員として果たしている役割を整理し、第5期における地域と専門機関の関係や、今後の地域福祉実践を考えるための基礎資料とする。

2.調査から見えてきたこと

事業所からの回答からは、福祉サービス等を提供する立場から見ても、地域とのつながりや地域住民との関係が利用者の暮らしを支える重要な要素となっていることがうかがえる。

一方で、支援を必要とする人を地域の中でどのように支えていくかについては、事業所だけで完結することが難しい場面もあり、地域住民、町内会、民生委員、行政、他の関係機関等との接点や連携のあり方が重要となっている。

また、事業所が地域に対して担える役割についても一定の可能性が見られ、福祉サービスの提供主体としてだけではなく、地域の中にある資源・人・専門性を生かす視点が求められている。これは、地域福祉を「住民活動」と「福祉サービス」に分けて考えるのではなく、双方がそれぞれの強みを生かしながら、暮らしを支える地域をつくっていくことの重要性を示している。

3.調査概要

(1)調査対象

登別市内の福祉・介護・障がい・子ども等の関係事業所

(2)調査期間

令和８年8月3日～令和８年9月10日

(3)配布数・回答数・回収率

配布数:102事業所、回答数:82事業所、回収率:80.4%

(4)調査方法

郵送による配布・回収及びWebによる回答

(5)集計・分析方法

各設問について回答数及び割合を集計し、割合は設問ごとの有効回答数を分母として算出し、端数処理を行っている。また、必要に応じて事業所の分野等によるクロス集計を行い、分野ごとの回答傾向を整理した。自由記載については、回答内容をテーマごとに整理し、事業所から寄せられた具体的な意見が分かるよう掲載した。

問１　事業所種別を教えてください。(1つ)

選択肢･項目	回答数	割合
高齢者福祉事業所	38	45.8%
障がい福祉事業所	9	10.8%
児童福祉事業所	14	16.9%
医療機関	9	10.8%
相談支援機関	0	0.0%
就労支援機関	3	3.6%
地域包括支援センター	3	3.6%
社会福祉法人本部	2	2.4%
その他	5	6.0%

自由記載:

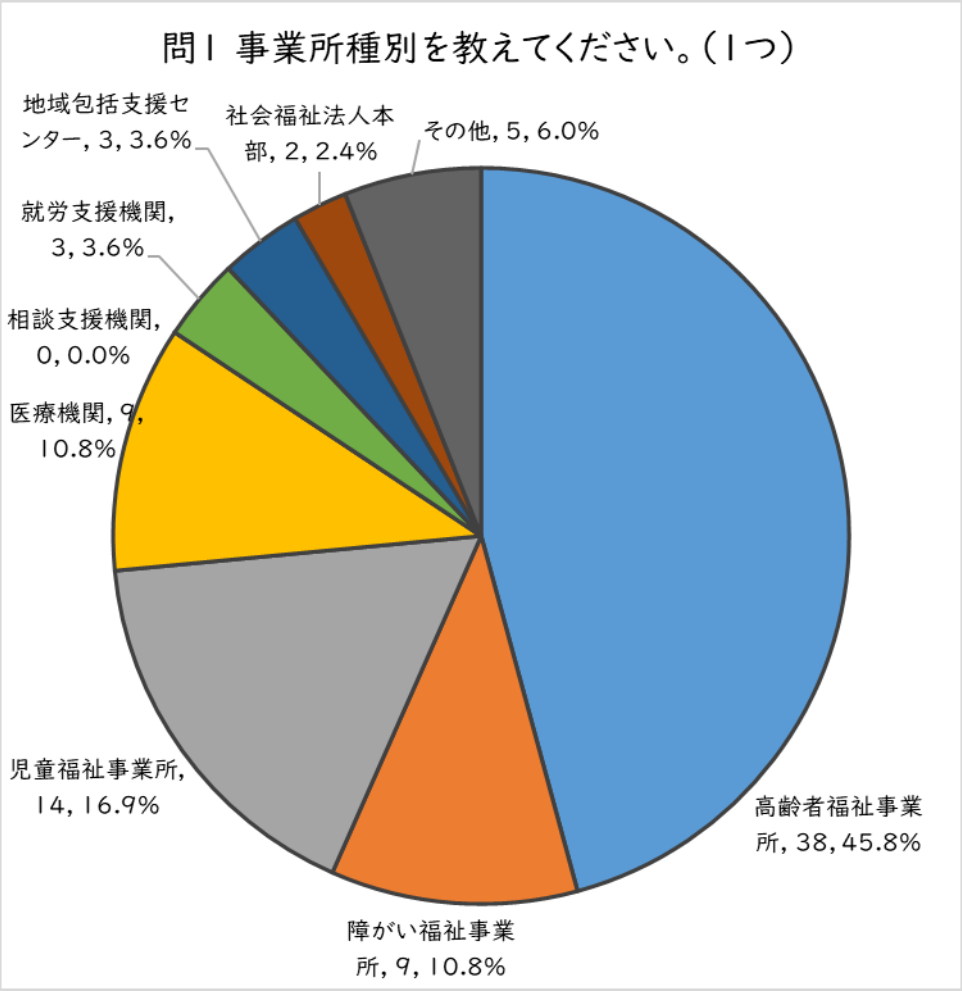
･福祉用具貸与事業所

･社会教育施設

･地域子育て支援拠点

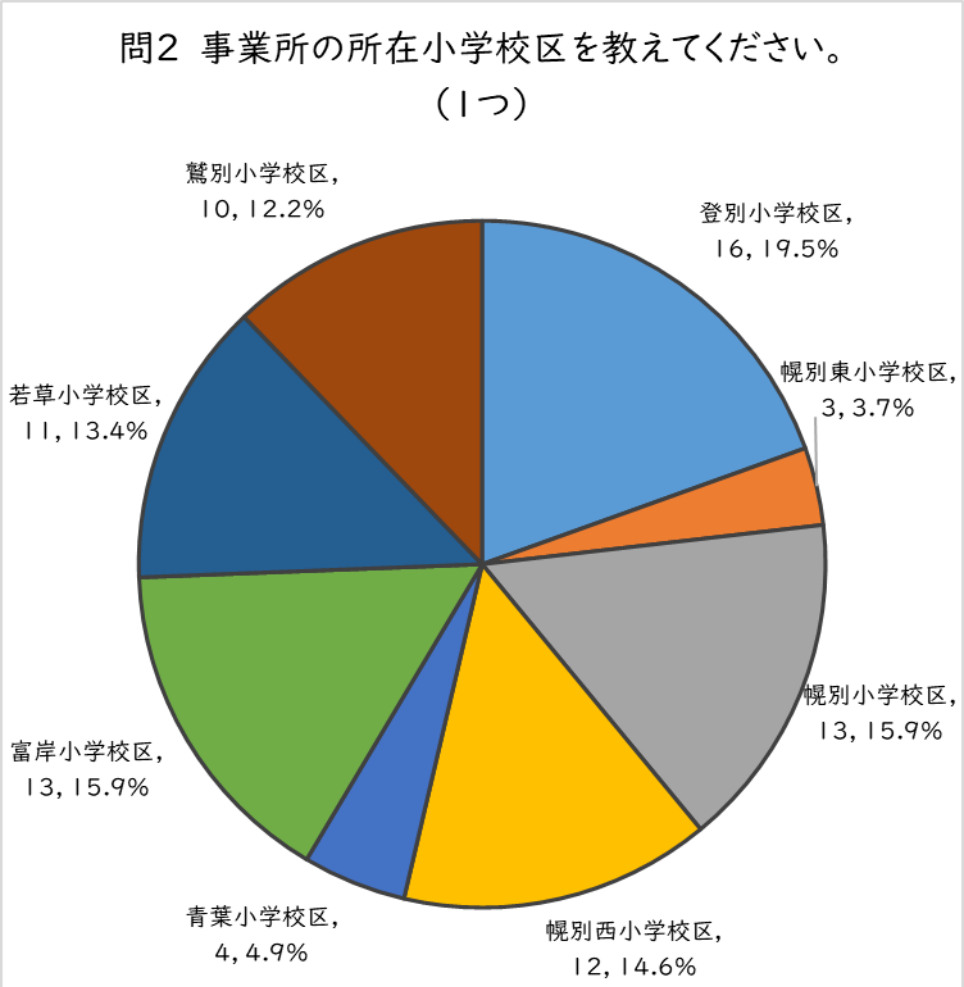
･訪問介護事業所

･高齢者施設



問2 事業所の所在小学校区を教えてください。(1つ)

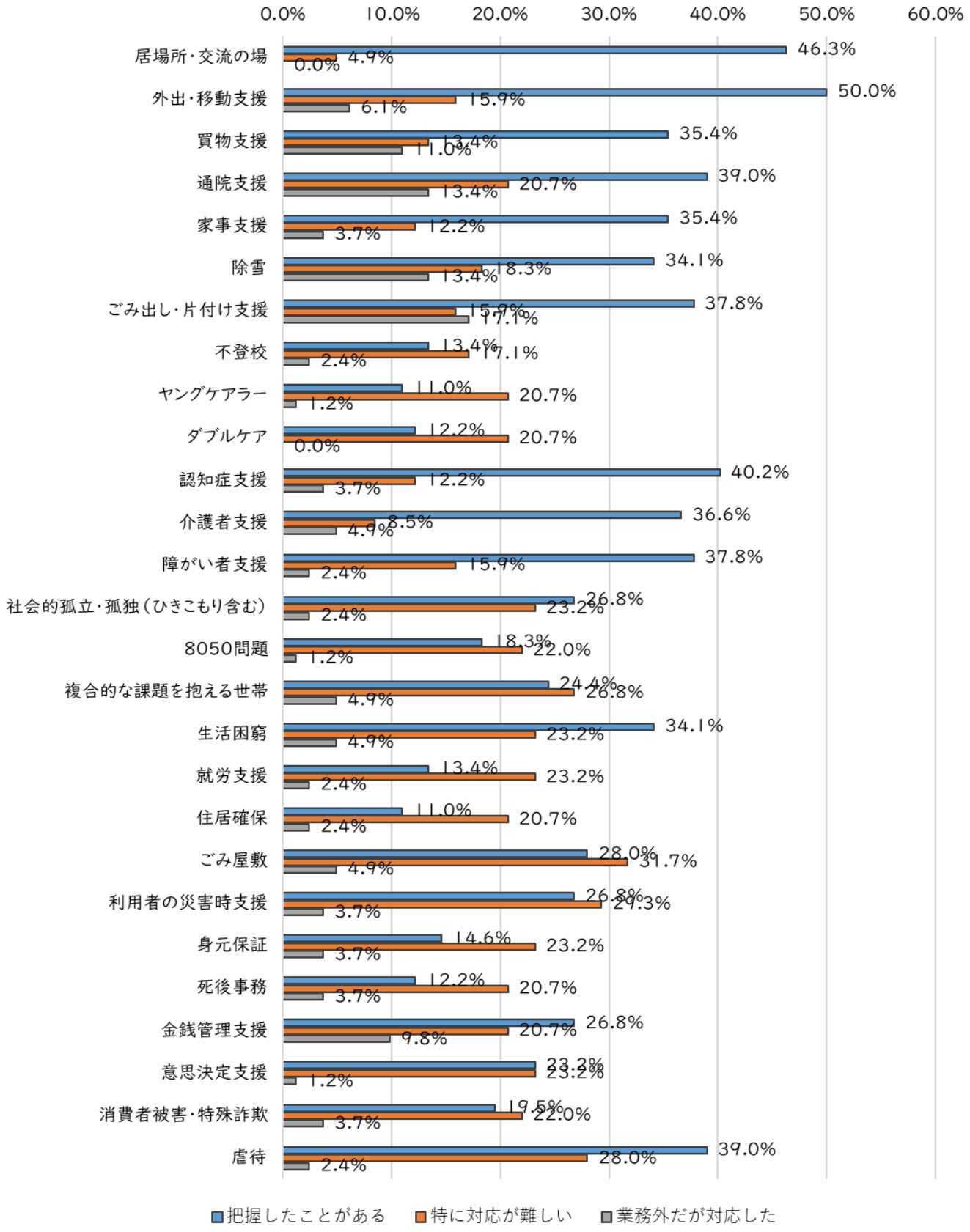
選択肢･項目	回答数	割合
登別小学校区	16	19.5%
幌別東小学校区	3	3.7%
幌別小学校区	13	15.9%
幌別西小学校区	12	14.6%
青葉小学校区	4	4.9%
富岸小学校区	13	15.9%
若草小学校区	11	13.4%
鷲別小学校区	10	12.2%



問 3 業務上、把握したことのある課題、その中で特に対応が難しいと感じるもの、また業務外だが対応したことがあるものをそれぞれ教えてください。（各項目の該当箇所に○）

項目	把握したことがある	特に対応が難しい	業務外だが対応した
居場所・交流の場	38(46.3%)	4(4.9%)	0(0.0%)
外出・移動支援	41(50.0%)	13(15.9%)	5(6.1%)
買物支援	29(35.4%)	11(13.4%)	9(11.0%)
通院支援	32(39.0%)	17(20.7%)	11(13.4%)
家事支援	29(35.4%)	10(12.2%)	3(3.7%)
除雪	28(34.1%)	15(18.3%)	11(13.4%)
ごみ出し・片付け支援	31(37.8%)	13(15.9%)	14(17.1%)
不登校	11(13.4%)	14(17.1%)	2(2.4%)
ヤングケアラー	9(11.0%)	17(20.7%)	1(1.2%)
ダブルケア	10(12.2%)	17(20.7%)	0(0.0%)
認知症支援	33(40.2%)	10(12.2%)	3(3.7%)
介護者支援	30(36.6%)	7(8.5%)	4(4.9%)
障がい者支援	31(37.8%)	13(15.9%)	2(2.4%)
社会的孤立・孤独（ひきこもり含む）	22(26.8%)	19(23.2%)	2(2.4%)
8050 問題	15(18.3%)	18(22.0%)	1(1.2%)
複合的な課題を抱える世帯	20(24.4%)	22(26.8%)	4(4.9%)
生活困窮	28(34.1%)	19(23.2%)	4(4.9%)
就労支援	11(13.4%)	19(23.2%)	2(2.4%)
住居確保	9(11.0%)	17(20.7%)	2(2.4%)
ごみ屋敷	23(28.0%)	26(31.7%)	4(4.9%)
利用者の災害時支援	22(26.8%)	24(29.3%)	3(3.7%)
身元保証	12(14.6%)	19(23.2%)	3(3.7%)
死後事務	10(12.2%)	17(20.7%)	3(3.7%)
金銭管理支援	22(26.8%)	17(20.7%)	8(9.8%)
意思決定支援	19(23.2%)	19(23.2%)	1(1.2%)
消費者被害・特殊詐欺	16(19.5%)	18(22.0%)	3(3.7%)
虐待	32(39.0%)	23(28.0%)	2(2.4%)

問3 業務上、把握したことのある課題、その中で特に対応が難しいと感じるもの、また業務外だが対応したことがあるものをそれぞれ教えてください。



問4 他機関との連携で課題を感じることを教えてください。(複数)

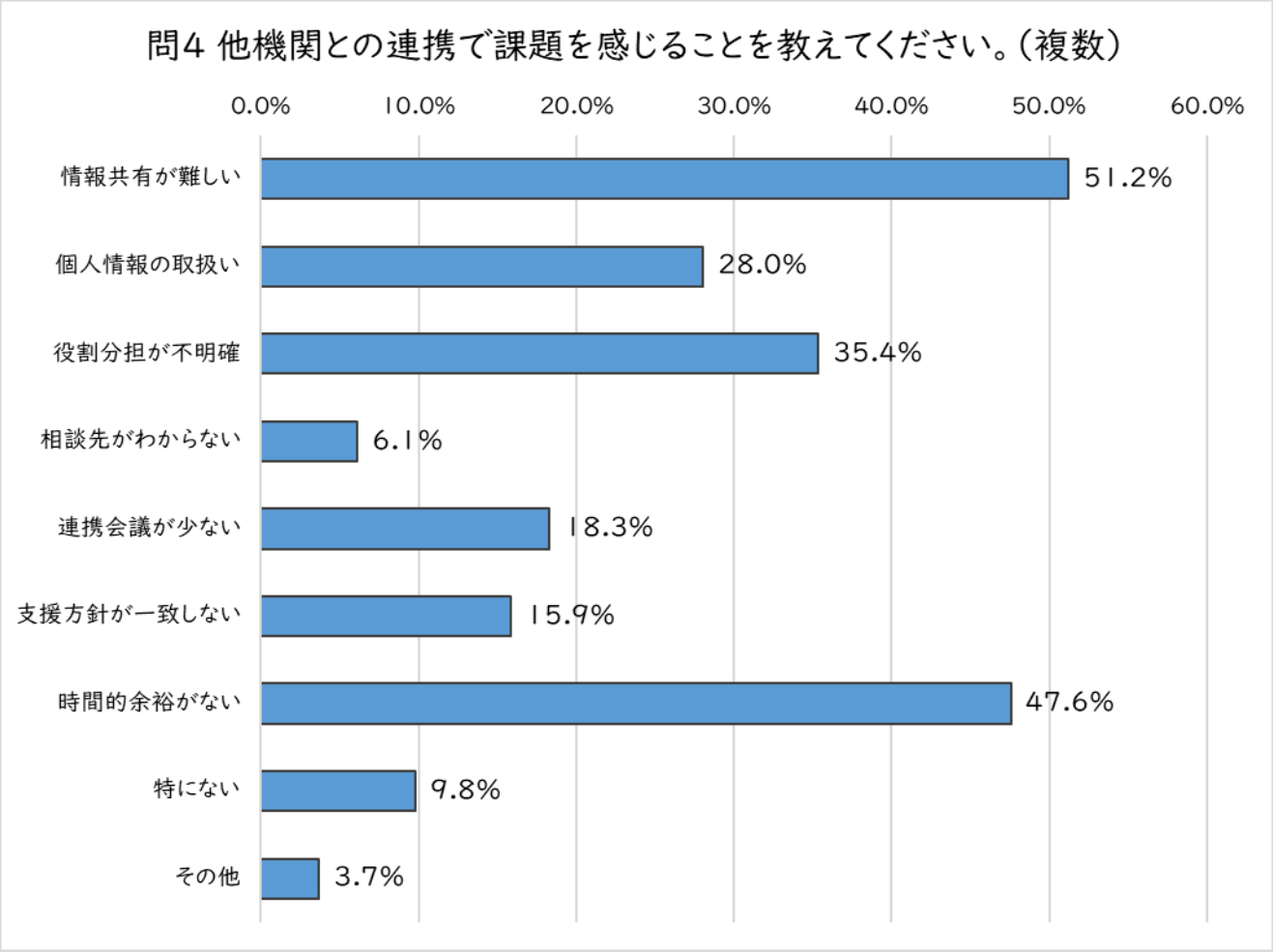
選択肢・項目	回答数	割合
情報共有が難しい	42	51.2%
個人情報の取扱い	23	28.0%
役割分担が不明確	29	35.4%
相談先がわからない	5	6.1%
連携会議が少ない	15	18.3%
支援方針が一致しない	13	15.9%
時間的余裕がない	39	47.6%
特にない	8	9.8%
その他	3	3.7%

自由記載:

・会議の場で市への不満ばかり話す事業所があり、前向きな話し合いができない

・自分たちの立場を優先していると感じることがある。他の支援機関への不満、文句を会の会議の場で話す専門職の存在

・社協の日自の窓口、成年後見任の窓口となり動けるのであれば責任もって関り、利用者の不利益が生じない対応を取って欲しいです。

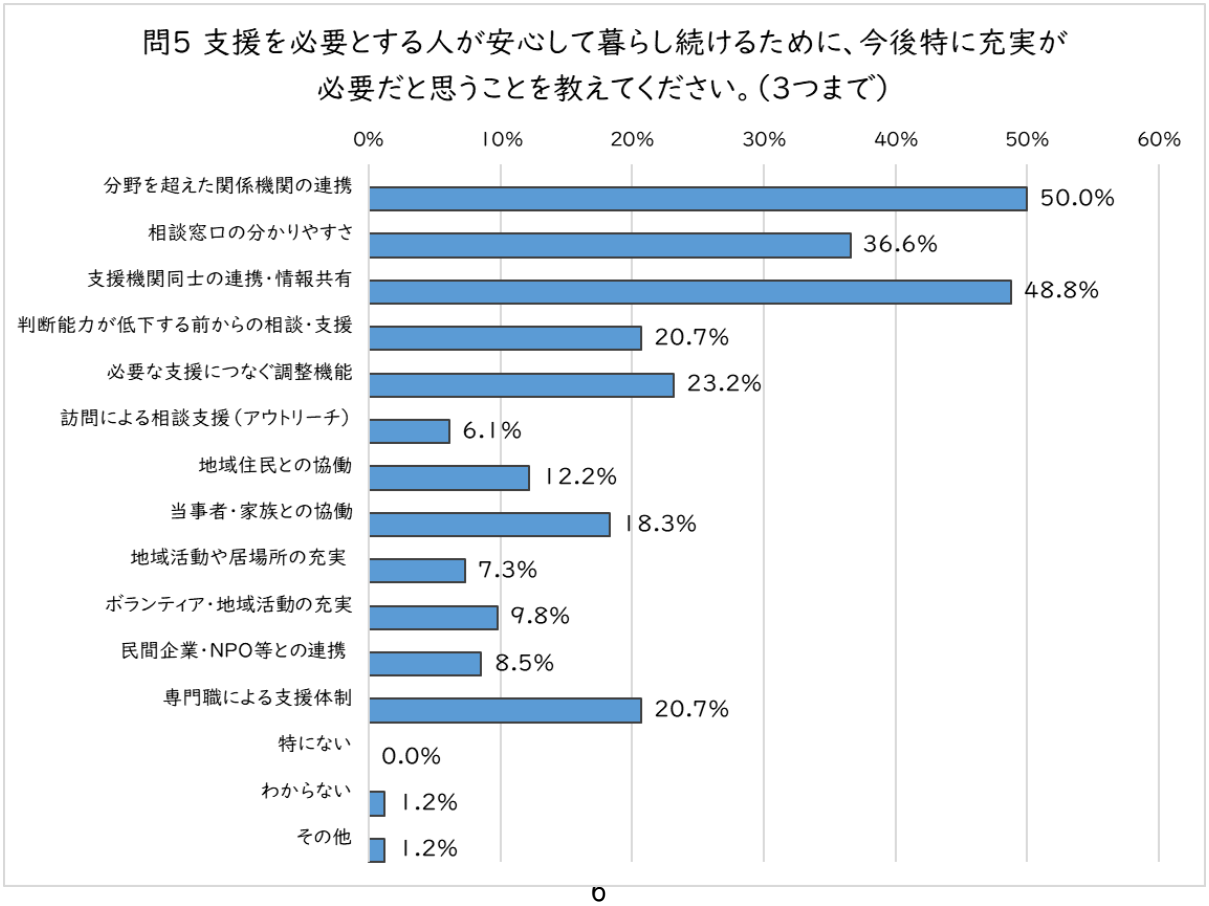


問 5 支援を必要とする人が安心して暮らし続けるために、今後特に充実が必要だと思うことを教えてください。(3 つまで)

選択肢・項目	回答数	割合
分野を超えた関係機関の連携	41	50.0%
相談窓口の分かりやすさ	30	36.6%
支援機関同士の連携・情報共有	40	48.8%
判断能力が低下する前からの相談・支援	17	20.7%
必要な支援につなぐ調整機能	19	23.2%
訪問による相談支援(アウトリーチ)	5	6.1%
地域住民との協働	10	12.2%
当事者・家族との協働	15	18.3%
地域活動や居場所の充実	6	7.3%
ボランティア・地域活動の充実	8	9.8%
民間企業・NPO 等との連携	7	8.5%
専門職による支援体制	17	20.7%
特にない	0	0.0%
わからない	1	1.2%
その他	1	1.2%

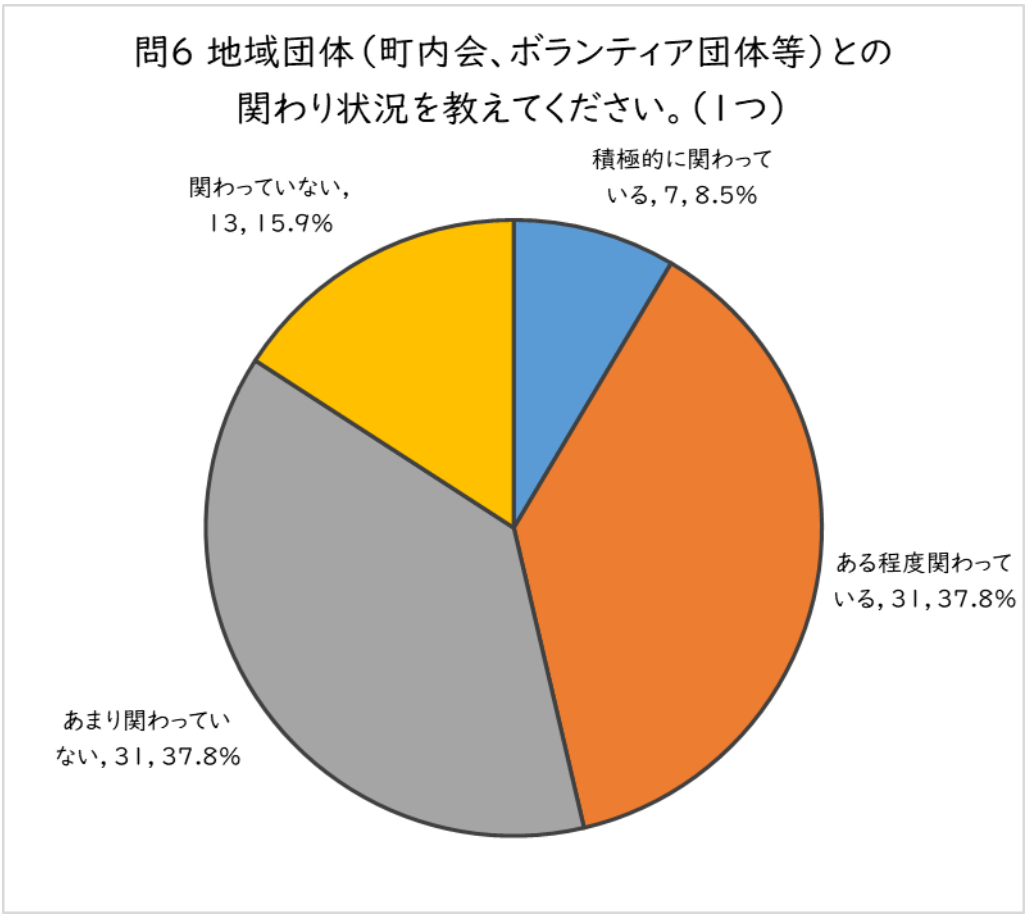
自由記載:

・支援する側とされる側といった枠のない関係づくり



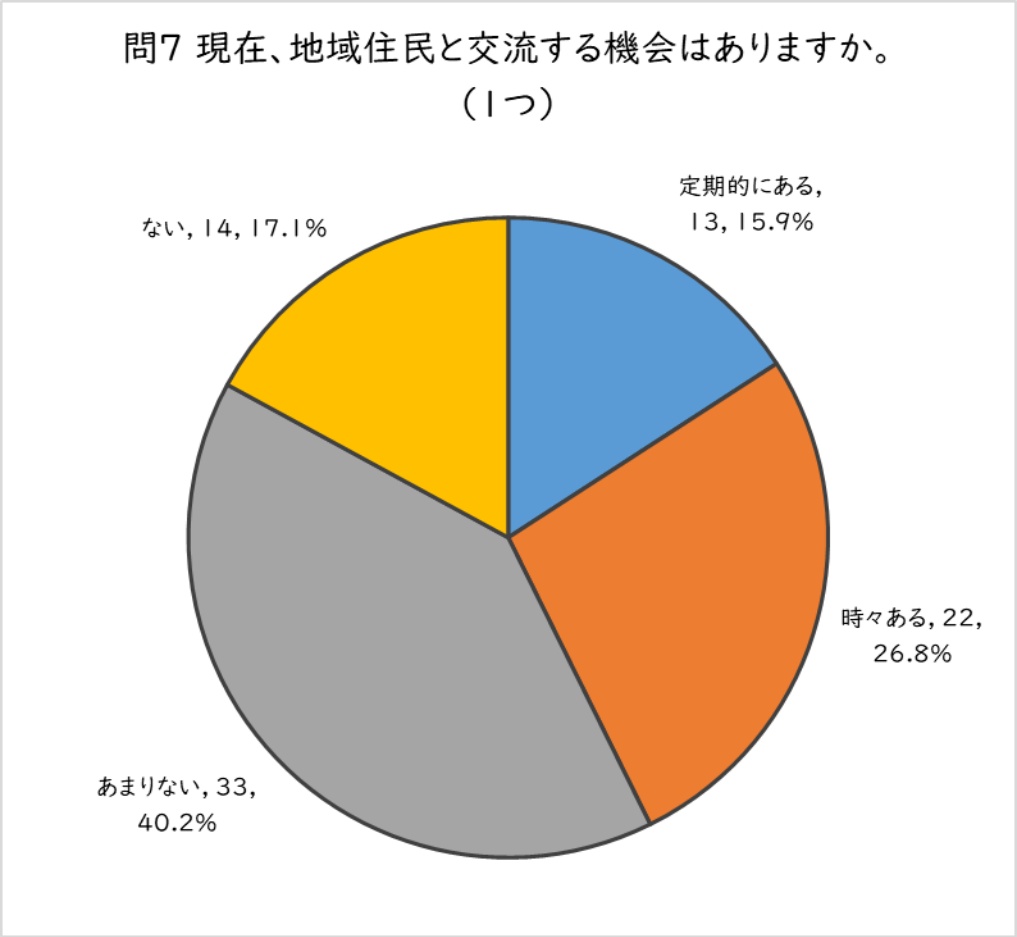
問 6 地域団体（町内会、ボランティア団体等）との関わり状況を教えてください。（1つ）

選択肢・項目	回答数	割合
積極的に関わっている	7	8.5%
ある程度関わっている	31	37.8%
あまり関わっていない	31	37.8%
関わっていない	13	15.9%



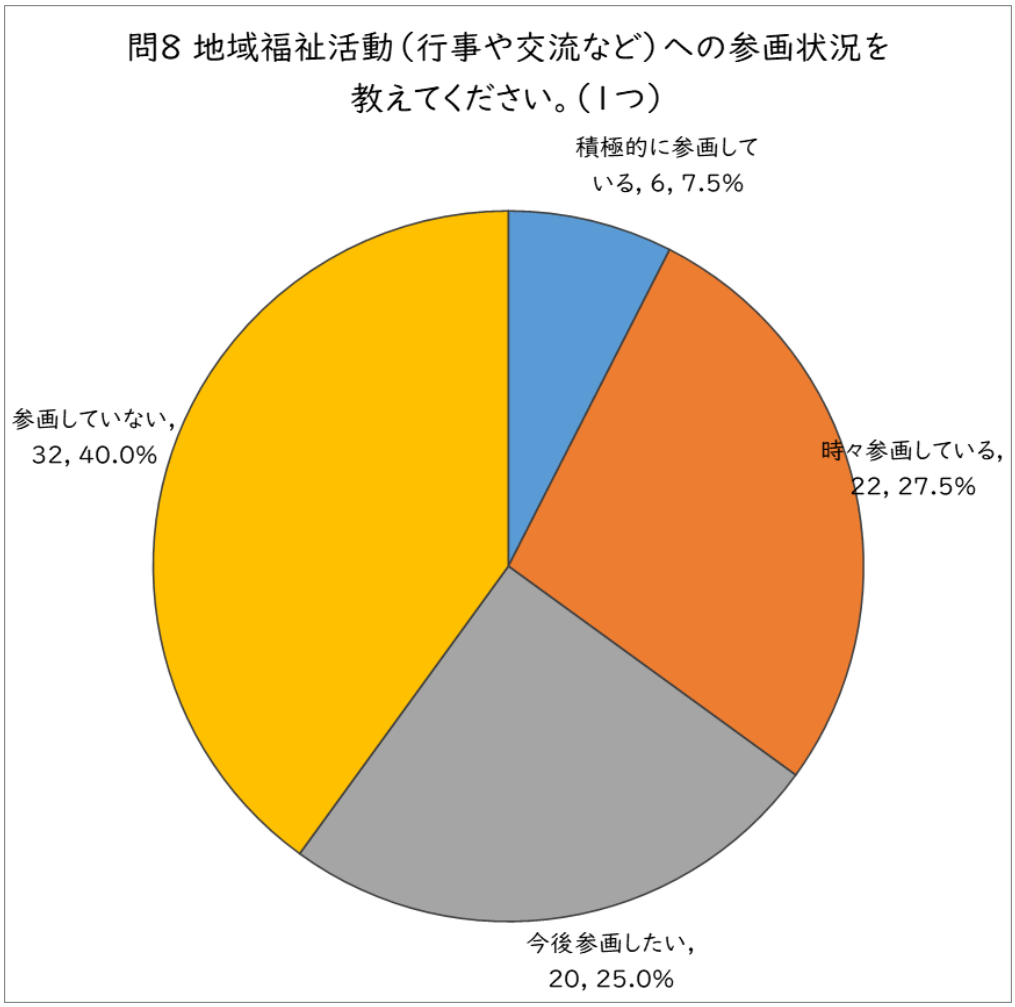
問 7 現在、地域住民と交流する機会はありますか。（1つ）

選択肢･項目	回答数	割合
定期的にある	13	15.9%
時々ある	22	26.8%
あまりない	33	40.2%
ない	14	17.1%



問 8 地域福祉活動（行事や交流など）への参画状況を教えてください。（1つ）

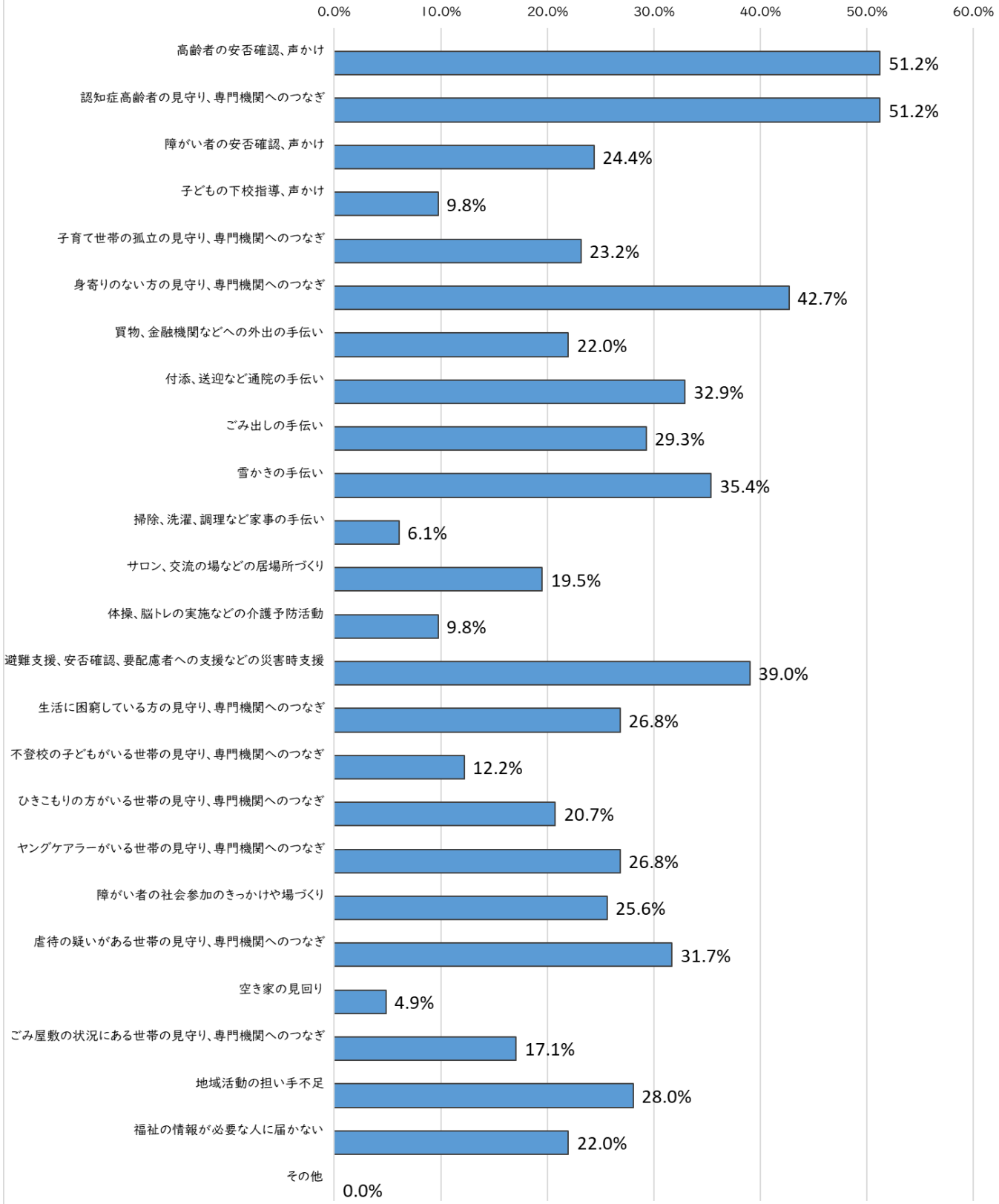
選択肢･項目	回答数	割合
積極的に参画している	6	7.5%
時々参画している	22	27.5%
今後参画したい	20	25.0%
参画していない	32	40.0%



問９ 今後、地域の中でより重点的に取り組む必要があると感じることを教えてください。（複数）

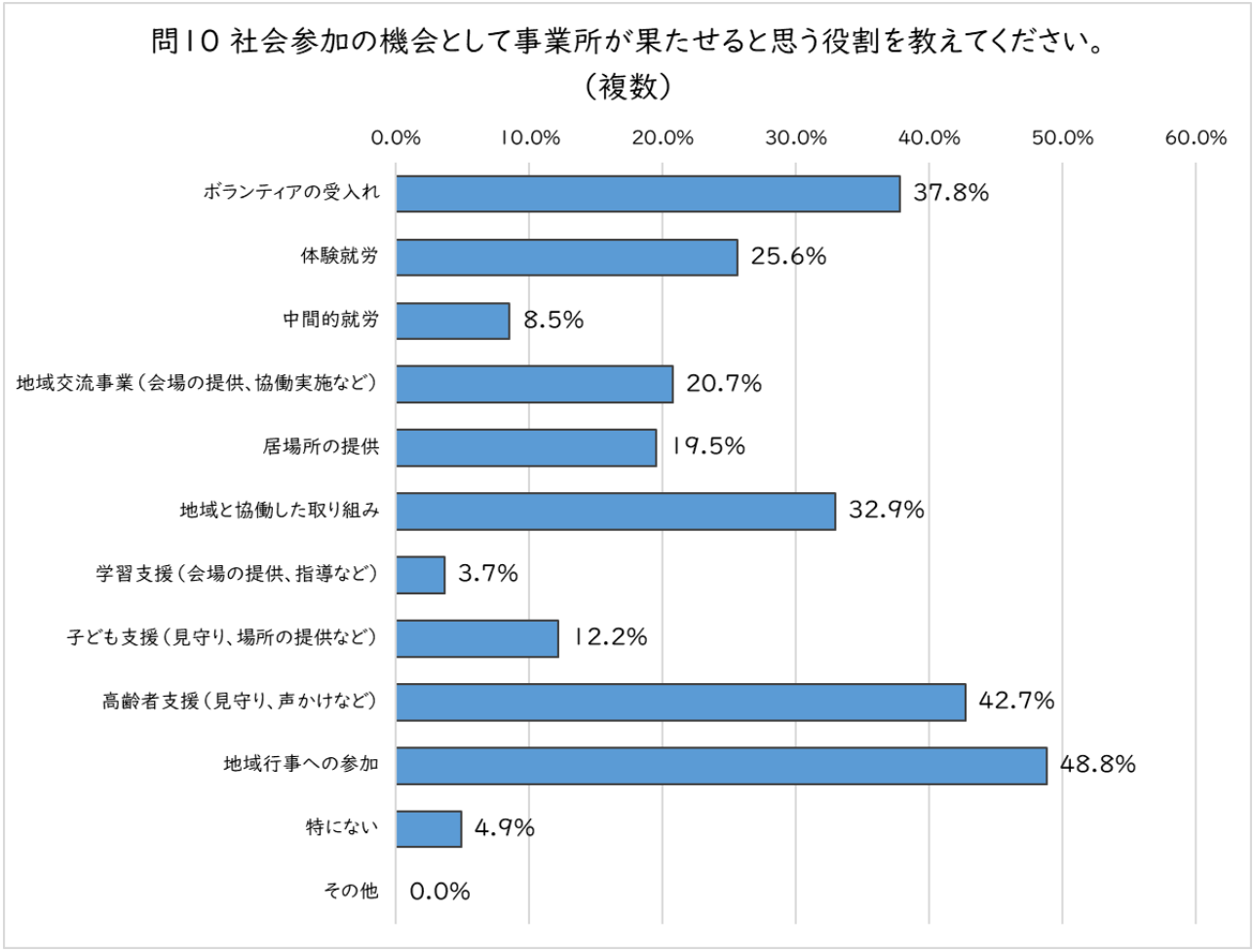
選択肢・項目	回答数	割合
高齢者の安否確認、声かけ	42	51.2%
認知症高齢者の見守り、専門機関へのつなぎ	42	51.2%
障がい者の安否確認、声かけ	20	24.4%
子どもの下校指導、声かけ	8	9.8%
子育て世帯の孤立の見守り、専門機関へのつなぎ	19	23.2%
身寄りのない方の見守り、専門機関へのつなぎ	35	42.7%
買物、金融機関などへの外出の手伝い	18	22.0%
付添、送迎など通院の手伝い	27	32.9%
ごみ出しの手伝い	24	29.3%
雪かきの手伝い	29	35.4%
掃除、洗濯、調理など家事の手伝い	5	6.1%
サロン、交流の場などの居場所づくり	16	19.5%
体操、脳トレの実施などの介護予防活動	8	9.8%
避難支援、安否確認、要配慮者への支援などの災害時支援	32	39.0%
生活に困窮している方の見守り、専門機関へのつなぎ	22	26.8%
不登校の子どもがいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ	10	12.2%
ひきこもりの方がいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ	17	20.7%
ヤングケアラーがいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ	22	26.8%
障がい者の社会参加のきっかけや場づくり	21	25.6%
虐待の疑いがある世帯の見守り、専門機関へのつなぎ	26	31.7%
空き家の見回り	4	4.9%
ごみ屋敷の状況にある世帯の見守り、専門機関へのつなぎ	14	17.1%
地域活動の担い手不足	23	28.0%
福祉の情報が必要な人に届かない	18	22.0%
その他	0	0.0%

問9 今後、地域の中でより重点的に取り組む必要があると感じることを教えてください。（複数）



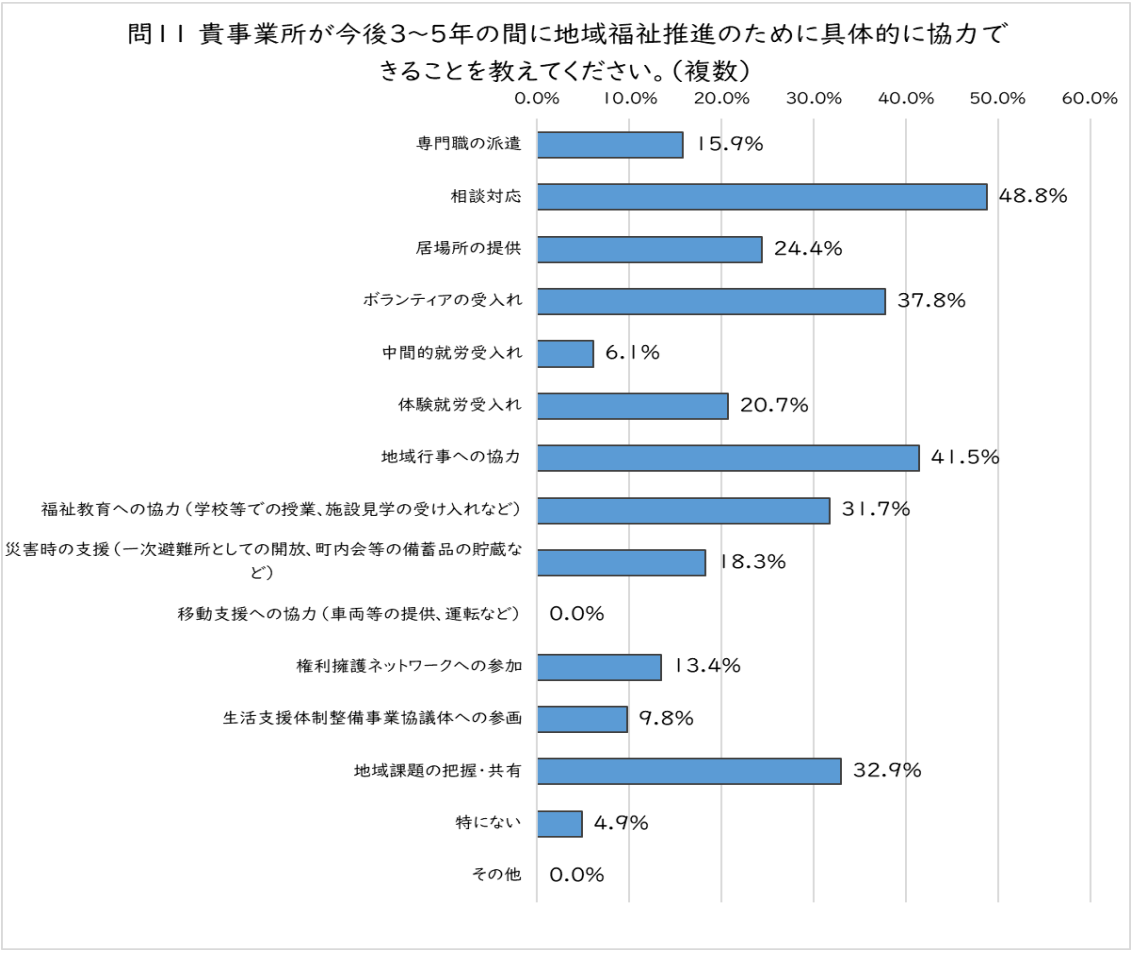
問 10 社会参加の機会として事業所が果たせると思う役割を教えてください。(複数)

選択肢・項目	回答数	割合
ボランティアの受入れ	31	37.8%
体験就労	21	25.6%
中間的就労	7	8.5%
地域交流事業(会場の提供、協働実施など)	17	20.7%
居場所の提供	16	19.5%
地域と協働した取り組み	27	32.9%
学習支援(会場の提供、指導など)	3	3.7%
子ども支援(見守り、場所の提供など)	10	12.2%
高齢者支援(見守り、声かけなど)	35	42.7%
地域行事への参加	40	48.8%
特にない	4	4.9%
その他	0	0.0%



問 11 貴事業所が今後3～5年の間に地域福祉推進のために具体的に協力できることを教えてください。(複数)

選択肢・項目	回答数	割合
専門職の派遣	13	15.9%
相談対応	40	48.8%
居場所の提供	20	24.4%
ボランティアの受入れ	31	37.8%
中間的就労受入れ	5	6.1%
体験就労受入れ	17	20.7%
地域行事への協力	34	41.5%
福祉教育への協力(学校等での授業、施設見学の受け入れなど)	26	31.7%
災害時の支援(一次避難所としての開放、町内会等の備蓄品の貯蔵など)	15	18.3%
移動支援への協力(車両等の提供、運転など)	0	0.0%
権利擁護ネットワークへの参加	11	13.4%
生活支援体制整備事業協議体への参画	8	9.8%
地域課題の把握・共有	27	32.9%
特にない	4	4.9%
その他	0	0.0%



問 12 地域福祉活動に事業所が関わる意義をどのように考えていますか。(自由記載)

・地域福祉活動の充実は、地域包括ケアシステムの深化・推進にむけた、自立支援・生活支援の要となるものと考えるため、私たち専門職の活動の底支えとして非常に大切なものであり、ありがたいものだと考えています。
・事業所が地域の身近な存在となることで、障がい者支援も身近に感じてもらえるきっかけとなればと考えています。
・地域活動への参加や協力を通じ、高齢者の相談窓口・介護予防支援の役割や機能を周知啓発する機会が持てるのではないかと考えます。 また、活動を通して地域の実情や課題に触れ、具体的な声を拾い上げることができるのではないかと思います。
・地域の中で暮らす高齢者が安心して生活を続けられる環境づくりにつながると考えています。事業所だけで支援を完結させるのではなく、地域の方々や関係機関とつながり、地域が抱える課題やニーズを共有することが大切で、デイサービスを利用している方が地域との交流や活動に参加することで、社会とのつながりや役割を持ち続けることにもつながります。事業所としても、これまで培ってきた介護の知識や経験を地域に還元し、地域の一員として支え合うことに意義があると考えています。
・地域包括や社会福祉協議会ほどハードルが高くなく、少々気軽に活用できる相談拠点
・地域福祉活動に参加することは、利用者様の生活の幅を広げるだけでなく、地域の皆様とのつながりを深め、お互いに支え合える地域づくりにつながります。交流を通し、”高齢者の孤立を防ぐ、生きがい・役割づくり””介護への理解を広げる””学校や自治会、ボランティア、世代を超えた交流を生む””災害時や緊急時にも地域の福祉拠点として協力できる体制づくりにつながる”
・少子高齢化、単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化が進む中、行政や家族だけでは地域の福祉ニーズに応えることが難しくなっていることからも、雇用・資金・技術・ネットワークなど多様な資源を持ち、地域に日常的に関与している事業所が地域福祉の新たな担い手となることで行政や住民だけでは対応できない課題への解決力を高めることが期待できる。
・社会福祉法人が地域福祉活動に事業所が関われることは、地域社会の発展に寄与し、地域住民の生活の質を向上させるために重要な役割を果たすものと考えます。
・福祉が必要な方々に、福祉を届けるため
・すでに行っている事業が高齢者支援施設として役割を担っており、実際に利用者を通して様々な問題点を垣間見てきました。当然関わる物として考えております。また、多くの人がより良い生活を求める事も自然なことであり、これらの支援のために、これからも関わっていく必要があると感じています。
・施設内にとどまらず地域社会と積極的につながる事で、利用者の役割意識や自己肯定感が高まり、地域の中で安心して自分らしく暮らし続ける基盤が整う。 ・住民と日常的な接点を持つことで、障がいへの偏見や先入観が和らぎ互いを地域社員の一員として認め合う意識(ノーマライゼーション)が定着する。
・地域と関りを持つことでなんかあった際には、お互いに支え合い協力出来たら良い。

・社会福祉法人が地域福祉活動に事業所が関わることは、地域社会の発展に寄与し、地域住民の生活の質を向上させるために重要な役割を果たすものと考えます。
・①地域がかかえている課題の情報共有と活動の方向性 ②介護予防のための具体策 ③介護と医療の連携支援 ④専門職への情報提供
・地域でこどもからお年寄りまでが共に支え合える社会
・地域でこどもからお年寄りまでが共に支え合える社会
・関わる必要はあると考えるがそこまで人が回せるか不透明なうえ参加意欲などある職員などいるか不安
・こども達の笑顔や秘めているパワーで、地域の活性化に貢献出来るのではと感じている。
・子育て世代の保護者にとって外出の機会を増やしたり、保護者同士の交流、気分転換の場所としての役割を果たしていると思います。
・地域の理解を得られること
・制度の狭間にいる孤立した高齢者や支援者を早期に発見しアクセスできる可能性がある
・日常の業務を通じ、困りごとの早期発見や問題解決に向けて福祉・医療の専門機関と協力すること
・地域における事業所に対する信頼を得る事や、非常時の協力体制の基礎などになると考えています
・中央子育て支援センターとしては、子育て中の親子が自由に集まり交流できる場を提供することで、孤立しがちな親子を地域社会とつないだり、親が抱える日常の育児相談や発達の悩みを一緒に共有していく中で育児の不安や負担を和らげたり、育児不安の解消や必要な支援の橋渡しとしての役割を担うことが出来ると考える
・高者の住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護サービスだけではなく、地域とのつながりを支えること、また困りごとも早期発見や必要な支援に繋げる事ができると考えています。
・地域福祉活動に参加することは、利用者様の生活の幅を広げるだけでなく、地域の皆様とのつながりを深め、お互いに支え合える地域づくりにつながります。当事業所は、介護サービスを提供するだけではなく、地域に開かれた事業所として、誰もが安心して暮らせる地域づくりに貢献すること
・当事業所の指針に従い地域社会への貢献から町の持続可能な発展に寄与したい

問 13 今後地域とどのような関係を築いていきたいですか。(自由記載)

・地域包括支援センターに辿り着くことが難しい方、時間がかかる方も多くみられます。地域に根付き、一緒に福祉的課題の解決に臨むことで、信頼関係を維持・構築し、緊密な連携を図っていきたいと考えます。
・継続して、積極的な関係構築を進めていきたい。
・高齢者支援の相談機関として啓発が進んでいけたらと思います。
・今後は、地域の方々や関係機関と気軽に相談や情報交換ができる関係を築いていきたいと考えています。地域の行事や活動にもできる範囲で参加し、利用者様が地域とのつながりを持ちながら安心して暮らせるよう支援していきたいです。また、事業所から地域へ一方的に支援するのではなく、地域の一員としてお互いに支え合い、困ったときに声を掛け合える関係を大切にしていきたいと考えています。
・緊急時に、協力をし合える関係を築きたいです
・こちらは何も望むことはないですが、身近にある困っていなくとも相談できる場所
・私たちは、地域の皆さんに気軽に立ち寄っていただけるような、身近で親しまれるデイサービスを目指しています。そしてお互いに支え合い、安心して暮らせる地域づくりに貢献してきたいと考えています。
・当センターでは、多様な世代との連携を継続的に実施する取り組みや地域団体との協働による子育て支援を継続的に行う取り組みを通じた地域との関係を維持していきたいと考えています。
・地域協力し、見守り活動や世代間の交流
・頼り、頼られる関係性を築いていけたら
・ロコミや「家族がお世話になっていたので、またお願いしたい」という紹介をいただくことがあり、これから更にそういったお声を頂けるように努力していきたいと思います。地域の方々に信頼されて、安心して身を委ねていただけるように、これからも各関係機関と連携しながらネットワークを作っていきたいと思います。
・「支援を受ける側」から「地域課題を共に解決するパートナー」へと関係性を再構築出来る日がくる事を願っています。
・おみこし(お賽銭)の参加(観覧)
・地域と協力し、見守り活動や世代間の交流
・介護と医療をつなぐ連携の拠点となれるよう、役割をはたしていきたいと考えています。
・連携を密にし、地域の課題を共に支え合える社会にして行きたいです。
・連携を密にし、地域の課題を共に支え合える社会にして行きたい。
・良い関係を築いていきはしたい
・●現在、たまに土曜日保育で地域のお年寄りとラジオ体操をしたりと交流の場を設けているが、運動会にもお誘いしており、更に地域のお年寄りが元気になるように貢献したいです。 ●園開放時に、地域のお母様達に来ていただき、育児の悩みなど吸い上げて寄り添い、孤立しないようにしていきたい。
・積極的に関わる

・必要があればその都度対応していきたいと思います。
・お祭りなど町内会行事の参加
・地域貢献活動を通じて事業所の透明性が高まり住民の信頼を得ること
・介護サービス提供以外の相談事に関わっていくことで、地域からの信頼につなげる
・気軽に足を運んで相談ができるような
・市内の保育所や保健師と引き続き連携を取り合い、子育て中の親子と地域社会とがつながりを持てるような関わりをしていきたい
・地域行事な祭りへの交流を通して交流を深め、地域包括センターや民生委員、自治会などと情報共有し連携を深めて見守る体制を築いていけたらと思う。
・地域の皆さんとお互いに支え合い、困ったときに相談し、協力し合える信頼関係を築いて行きたい
・互いにできることに取り組む。そのための相互理解

第５期登別市地域福祉実践計画「きずな」策定に係る
福祉事業所アンケート

～これからのきずなづくりに向けて～

きずな推進委員会と登別市社会福祉協議会では、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを目指し、第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」（令和9年度～令和13年度）の策定を進めています。

福祉・医療・介護・子育て・教育・企業など、さまざまな分野で活動されている事業所の皆さまは、地域住民の暮らしに身近な立場から、多くの課題や地域の変化を日々感じておられることと思います。

このアンケートでは、事業所の皆さまが日頃の業務を通して感じている地域課題や、地域との関わり、今後の地域福祉に期待すること、地域で協力できることなどについてお伺いします。

いただいたご回答は統計的に集計・分析し、本計画の策定や、地域における支え合いの仕組みづくり、関係機関との連携強化などに活用させていただきます。個人や事業所が特定される形で公表することはありません。

この計画は、行政や福祉関係機関だけではなく、地域住民や事業所、各種団体など、多様な主体がともに支え合う地域づくりを進めるための計画です。

日頃の業務を通して感じていることや、地域の強み、これから必要だと思うことをお聞かせください。

きずな推進委員会
社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

≪インターネットでの回答について≫

本アンケートは、インターネット上でも回答することができます。

次のURLを入力、もしくは右のQRコードを読み込んで回答ください。

※インターネットで回答される場合は、本アンケート（紙媒体）の提出は不要です。

※全13問、回答の目安は10分ほどです。

【調査期間　令和8年8月3日～令和8年8月21日まで／同封の封筒に切手を貼らず返送ください】

■業務のことについて

問１　事業所種別を教えてください。（1つ）

1. 高齢者福祉事業所　2. 障がい福祉事業所　3. 児童福祉事業所
4. 医療機関　5. 相談支援機関　6. 就労支援機関
7. 地域包括支援センター　8. 社会福祉法人本部　9. その他（　　）

問２　事業所の所在小学校区を教えてください。（1つ）

※きずなでは、小学校区を”暮らしの圏域“として捉えていることから、統合のあった幌別東小学校区についても選択肢としています。

1. 登別小学校区（登別温泉町、上登別町、カルルス町、中登別町、登別東町、登別港町、登別本町、富浦町、札内町 381 番地）
2. 幌別東小学校区（幸町、幌別町、新栄町）
3. 幌別小学校区（中央町、常盤町、千歳町、来馬町、札内町(札内町 381 番地除く)）
4. 幌別西小学校区（富士町、新川町、片倉町、柏木町、川上町、鉱山町）
5. 青葉小学校区（緑町、桜木町、青葉町、大和町 1 丁目、若山町 1･2 丁目）
6. 富岸小学校区（新生町、富岸町、若山町 3･4 丁目、栄町 3･4 丁目、大和町 2 丁目）
7. 若草小学校区（美園町、若草町、上鷲別町）
8. 鷲別小学校区（鷲別町、栄町 1･2 丁目）

問３　業務上、把握したことのある課題、その中で特に対応が難しいと感じるもの、また業務外だが対応したことがあるものをそれぞれ教えてください。（各項目の該当箇所に○）

区分	No.	項目	把握したことがある課題	特に対応が難しいもの	業務外だが支援したことがあるもの
生活	1	居場所・交流の場			
	2	外出・移動支援			
	3	買物支援			
	4	通院支援			
	5	家事支援			
	6	除雪			
	7	ごみ出し・片付け支援			
子ども・家庭	8	不登校			
	9	ヤングケアラー			
	10	ダブルケア			
高齢・障がい	11	認知症支援			
	12	介護者支援			
	13	障がい者支援			
地域課題	14	社会的孤立・孤独（ひきこもり含む）			
	15	8050 問題			
	16	複合的な課題を抱える世帯			
	17	生活困窮			
	18	就労支援			
	19	住居確保			
	20	ごみ屋敷			
	21	利用者の災害時支援			
権利擁護	22	身元保証			
	23	死後事務			
	24	金銭管理支援			
	25	意思決定支援			
	26	消費者被害・特殊詐欺			
	27	虐待			

問4　他機関との連携で課題を感じることを教えてください。（複数）

1. 情報共有が難しい　2. 個人情報の取扱い　3. 役割分担が不明確
4. 相談先がわからない　5. 連携会議が少ない　6. 支援方針が一致しない
7. 時間的余裕がない　8. 特にない
9. その他（　　）

問５　支援を必要とする人が安心して暮らし続けるために、今後特に充実が必要だと思うことを教えてください。（3 つまで）

1. 分野を超えた関係機関の連携　2. 相談窓口の分かりやすさ
3. 支援機関同士の連携・情報共有　4. 判断能力が低下する前からの相談・支援
5. 必要な支援につなぐ調整機能　6. 訪問による相談支援（アウトリーチ）
7. 地域住民との協働　8. 当事者・家族との協働
9. 地域活動や居場所の充実　10. ボランティア・地域活動の充実
11. 民間企業・NPO 等との連携　12. 専門職による支援体制
13. 特にない　14. わからない
15. その他（　　）

■地域のことについて

問６　地域団体（町内会、ボランティア団体等）との関わり状況を教えてください。（１つ）

１．積極的に関わっている　　２．ある程度関わっている

３．あまり関わっていない　　４．関わっていない

問７　現在、地域住民と交流する機会はありますか。（１つ）

１．定期的にある　　２．時々ある

３．あまりない　　４．ない

問８　地域福祉活動（行事や交流など）への参画状況を教えてください。（１つ）

１．積極的に参画している　　２．時々参画している

３．今後参画したい　　４．参画していない

問９　今後、地域の中でより重点的に取り組む必要があると感じることを教えてください。（複数）

1. 高齢者の安否確認、声かけ
2. 認知症高齢者の見守り、専門機関へのつなぎ
3. 障がい者の安否確認、声かけ
4. 子どもの下校指導、声かけ
5. 子育て世帯の孤立の見守り、専門機関へのつなぎ
6. 身寄りのない方の見守り、専門機関へのつなぎ
7. 買物、金融機関などへの外出の手伝い
8. 付添、送迎など通院の手伝い
9. ごみ出しの手伝い
10. 雪かきの手伝い
11. 掃除、洗濯、調理など家事の手伝い
12. サロン、交流の場などの居場所づくり
13. 体操、脳トレの実施などの介護予防活動
14. 避難支援、安否確認、要配慮者への支援などの災害時支援
15. 生活に困窮している方の見守り、専門機関へのつなぎ
16. 不登校の子どもがいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ
17. ひきこもりの方がいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ
18. ヤングケアラーがいる世帯の見守り、専門機関へのつなぎ
19. 障がい者の社会参加のきっかけや場づくり
20. 虐待の疑いがある世帯の見守り、専門機関へのつなぎ
21. 空き家の見回り
22. ごみ屋敷の状況にある世帯の見守り、専門機関へのつなぎ
23. 地域活動の担い手不足
24. 福祉の情報が必要な人に届かない
25. その他（　　）

問 10　社会参加の機会として事業所が果たせると思う役割を教えてください。（複数）

1. ボランティアの受入れ　　2. 体験就労
3. 中間的就労　　4. 地域交流事業（会場の提供、協働実施など）
5. 居場所の提供　　6. 地域と協働した取り組み
7. 学習支援（会場の提供、指導など）　　8. 子ども支援（見守り、場所の提供など）
9. 高齢者支援（見守り、声かけなど）　　10. 地域行事への参加
11. 特にない　　12. その他（　　）

問 11　貴事業所が今後3～5年の間に地域福祉推進のために具体的に協力できることを教えてください。（複数）

1. 専門職の派遣
2. 相談対応
3. 居場所の提供
4. ボランティアの受入れ
5. 中間的就労受入れ
6. 体験就労受入れ
7. 地域行事への協力
8. 福祉教育への協力（学校等での授業、施設見学の受け入れなど）
9. 災害時の支援（一次避難所としての開放、町内会等の備蓄品の貯蔵など）
10. 移動支援への協力（車両等の提供、運転など）
11. 権利擁護ネットワークへの参加
12. 生活支援体制整備事業協議体への参画
13. 地域課題の把握・共有
14. 特にない
15. その他

問 12　地域福祉活動に事業所が関わる意義をどのように考えていますか。（自由記載）

問 13　今後地域とどのような関係を築いていきたいですか。（自由記載）

～アンケートは以上です。ご回答ありがとうございました。～